

パソコン保守用などフリーソフト三題

1. CPUID Hardware Monitor パソコンのマザーボード、CPU、HDDの温度を表示するソフトです。他にもバッテリーの状態等が表示されます。

Sensor	Value	Min	Max
TRA2-PC			
Intel Corporation SANTA ...			
Temperatures			
TZ00	93 °C (199...)	92 °C (197...)	96 °C (204...)
TZ01	93 °C (199...)	92 °C (197...)	96 °C (204...)
Intel Mobile Core 2 Duo T...			
Temperatures			
Core #0	87 °C (188...)	87 °C (188...)	93 °C (199...)
Core #1	87 °C (188...)	87 °C (188...)	92 °C (197...)
TOSHIBA MK7559GSM ...			
Temperatures			
Assembly	47 °C (116...)	47 °C (116...)	47 °C (116...)
Battery			
Voltages			
Current Voltage	15.000 V	15.000 V	15.000 V
Capacities			
Designed Capacity	30000 mWh	30000 mWh	30000 mWh
Full Charge Capacity	27630 mWh	27630 mWh	27630 mWh
Current Capacity	27780 mWh	27780 mWh	27780 mWh
Levels			
Wear Level	8 %	8 %	8 %
Charge Level	100 %	100 %	100 %

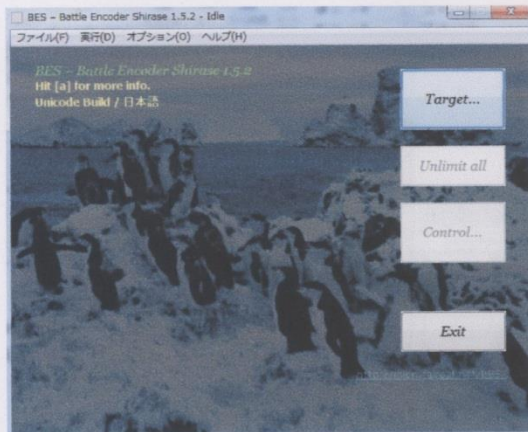
普通の人には必要ないかもしれませんが、私のようにパソコンPCを使っている人には必要な場合があります。

PC内部では常にこの部分の温度を測っていて、このソフトはそれを表示しているものです。

私のPCは最近調子が悪く、マザーボードとCPUの温度がすぐに上がってしまいます。パソコンの心臓部は熱に弱く、温度が上がりすぎると破壊されるため、守るために一定以上の温度になるとPCの電源が切れるようになっていました。私のPCは110度を超えたあたりで電源が切れます。

OfficeやIEなどではそんなに上がらないのですが、動画の編集後の保存が長時間CPUをフル稼働させるため、途中で電源が切れ、このPCでは動画の編集ができませんでした。

2. BES - Battle Encoder Shirase

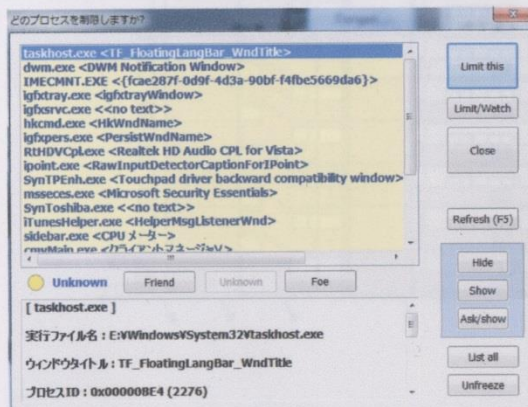


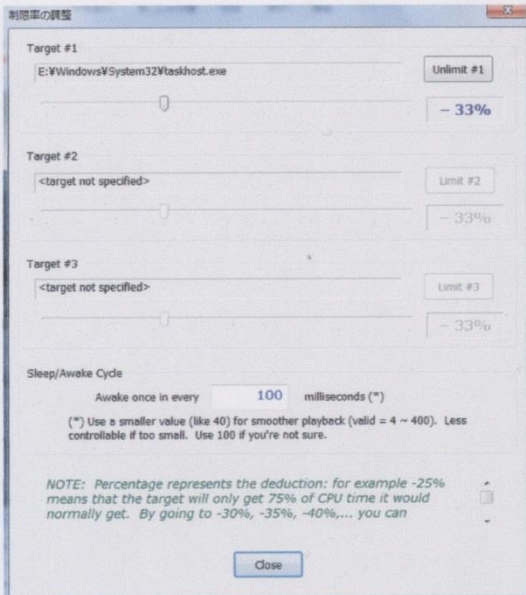
プロセスごとにCPU使用率の上限を設定できるソフトです。動画編集など、CPUを独占してしまうソフトを使いながら他の作業をしたいときに、使用率を下げることで邪魔にならないようにできます。その代り、使用率を下げた分だけ処理時間が長くなります。

私のPCは先述のとおり、CPUがフル稼働すると電源が落ちるパソコンなので、ボードとCPUの温度を見ながら、稼働率を調整して電源が切れずに作業を終了するように調整しています。この方法は貧乏な人用なので、良い子のみんなは真似をせずにPCを買い替えてください。

使い方は、まず『Target』ボタンを押すとウインドウが開き『どのプロセスを制限しますか?』と聞かれ、今稼働中のプロセスが表示されるので、制限したいプロセスを選択して『Limit this』ボタンを押します。これで制限する準備ができましたので『Close』ボタンを押してこのウインドウを閉じます。

次に初期画面の『Control』ボタンを押します。





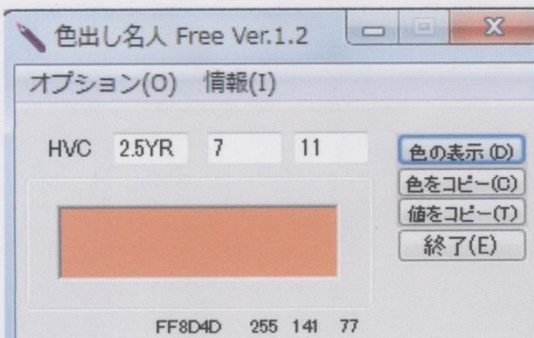
ウィンドウが開き、スライダー表示されるので、制限率を調整します。数字が大きいくほど、制限が大きくなり稼働率が下がります。私は1つしか使っていませんが、複数のプロセスについて制限できるよう、Target # 3まであります。制限を解除するときは、右端の『Unlimit』ボタンを押します。調整が终れば『Close』ボタンでウィンドウを閉じます。閉じたあとも制限は続いています。

複数のプロセスの制限をすべて解除する場合は、初期画面の『Unlimit all』ボタンを押します。

作業を終了し、閉じるときにはこの『Unlimit all』ボタンを押してから『Exit』ボタンで終了します。

3. 色出し名人

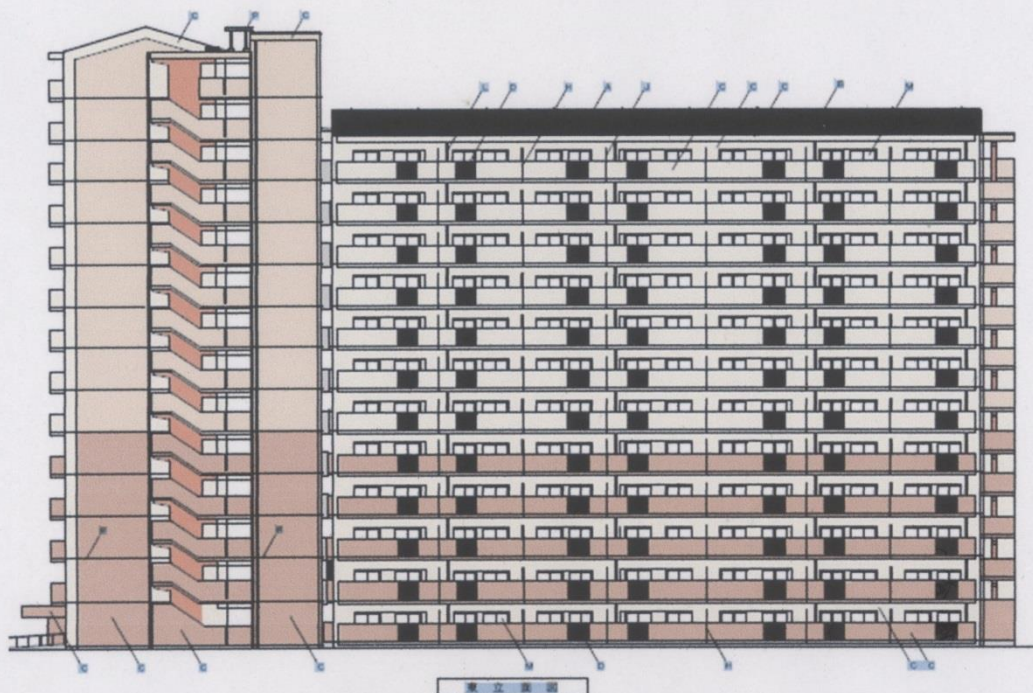
実際の色に近い色を PC 上で再現するソフトです。



画像ソフトや office ソフトで色を作って使う場合に、基本設定には思う色がなくて、カスタムで作るとなかなか良い色が出ないときに使えます。実際にある色見本等でマンセル値などがわかっている場合、見本そのものの色を再現することができます。ただし、あくまで PC 上なので、モニターやプリンターなどで出力時には各ハードウェアの再現力に依存しているため全く同じ色を出すのは不可能です。でも、一から色を作る困難さに比べれば、大いに助けになるソフトです。

私は本業の建築の仕事で、外壁の吹付の色を決める見本を作るのに役立ちました。

マンセル以外の使い方については、私も試していないので、興味のある方は各自ご研究下さい。



(編集者注)

以上のソフトはいずれも無料で以下のサイトからダウンロードできます

1. CPUID Hardware Monitor: <http://www.gigafree.net/system/monitor/hwmonitor.html>
2. BES Battle Encorder Shirase: <http://deztec.jp/x/05/faireal/BES-index.html>
2. 色出し名人 : http://www.colordream.net/Iro_MV.htm